

共立女子大学・共立女子短期大学 教養教育科目「自己開発」 PBL 社会連携プログラム 2024 年度 五島市フィールドワーク 要項

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



共立女子大学・共立女子短期大学
Kyoritsu Women's University & Junior College

五島高等学校

五島市立図書館
GOTO LIBRARY

五島の椿 Goto no Tsubaki

PBL 社会連携プログラムとは

自治体、地域社会が抱える課題の解決策を、学部も学年も様々な学生チームが提案する実践的なプログラムです。学部・学年を超えて集う学生同士が議論しながら仮説を立て、自治体・関係者へのヒアリングなどを通して解決策を見つけ出します。地域の魅力を知り、課題を深く考え、仲間と協働することは成長の機会になります。

ポイント！

- 長崎県立 五島高等学校（長崎県五島市）2年生と協働で行う高大連携プログラムです。
- 異なる環境、多様な感性のメンバーと協働することで、自身と周囲の人々や物事との関係性を理解し、伝統と文化を学べます。
- 五島市立図書館にて、五島市 福江島の子どもたち（～5,6歳）へ、こども会イベント（絵本読み聞かせ等）の事前準備、実施。
- 五島の椿株式会社（本社：長崎県五島市）が展開する、五島列島生まれ自然由来スキンケアブランド「五島の椿」。長崎県・五島列島は、大小 140 余りの美しい島々。島には「藪椿（やぶつばき）」と呼ばれる固有の椿が約 1000 万本も群生し、自生する椿としては日本一。五島の椿株式会社は、五島列島に自生する椿を活用し、自社農園で、椿の栽培、商品開発、製造、発送まで五島列島から、島の人々の丁寧な手仕事で、お客様のもとにお届けしています。吉永小百合さんが 36 年ぶりに出演する化粧品 CM で大好評の五島の椿「椿の葉 保湿水」の生産者からも五島生まれの製品について、現地の思いを学べます。
- 九州最西端、五島列島の南西部に位置し、自然と歴史がまつまった五島市の環境と一押し観光地や特産品などを知ることで、あなた自身が五島の観光大使となり、仲間と五島ファン増産に向けた提案を実践できる課題解決型プログラムです。

課題テーマ

五島高等学校 × 共立女子大学 バラモンプラン

誰もが一度は訪れてみたいと思える環境づくり

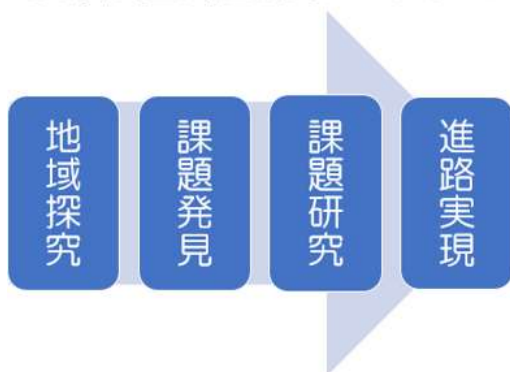
～五島市ファンを創出せよ～



バラモンプランについて

五島高校では、平成 28 年度より総合的な学習として「バラモンプラン」を開始しました。バラモンプランの目的は大きく3つあります。1つ目は、探究学習を通して自分の進路を見極め、新入試に対応するためです。また、課題研究を通して主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を育てることです。2つ目は、教科の学習だけでは学ぶことのできない、社会で活躍するための資質・能力を身に付けることです。試行錯誤をすることを通して、自分で考え行動する態度を育てることです。3つ目は、五島の魅力を再発見し、その魅力を発信するためです。様々な角度から五島を探究し、五島のポテンシャルを自分たちだけではなく、多くの人に知ってもらいたいと考え、以上3つの目的を具現化するために、1年生で五島や社会について探究をし、2年生で課題研究を行い、3年生での進路学習につなげます。本プログラムでは、五島高校 バラモンプランに、共立女子大学も協働し、五島高校（五島）生徒、共立女子大学（東京）学生のアイデア・視点をいれることで相乗効果を目指します。五島市ファンを創出する地域活性化に向けて仲間と協働し、学生目線の自由な発想で提案し、練り上げていきましょう！

地域探究型課題研究プログラム



五島高等学校 HP より

到達目標

フィールドワークに先立ち、講義を通じて、地域の現状と施策、産業の実態などに関する基礎知識を身につける。そのうえで、現地のフィールドワークや課題解決型グループワークにより、地域の特性や魅力を理解し、さらに課題を発見したうえで、それを理解する力を身につける。

応募条件 共立女子大学・短期大学 2～4年次 GPA 2.0 以上（2024年3月末時点）

人数 共立女子大学・短期大学 5名程度（最大9名迄）

同プログラム担当 共立女子大学・共立女子短期大学 社会連携センター 大石裕理子
五島高等学校 松田加保里教諭、長坪菊乃教諭

受講費用 75,000円 + 国内空港使用料 740円（別途、羽田～自宅往復交通費、五島市滞在時の昼食・夕食代が必要）

この受講費用（旅費）は、国の特定有人国境離島地域社会維持推進交付金の助成確定後の価格

【受講費用に含まれるもの】羽田～五島・福江空港までの往復飛行機代、宿泊費、朝食2回・昼食1回・現地プログラム体験費。

・受講費用は、指定する期日（2024年6月中旬）までに、指定の口座へお振込みいただきます（詳細は別途ご案内）。

【別途、下記の実費が必要】

・各自の自宅から羽田空港（国内線 ANA 羽田空港第2ターミナル）までの往復交通費（電車、バス等）、五島市滞在時の昼食代と夕食代。

申込（先着順ではありません。申込締切後、抽選のうえ受講確定となります）

申込期間 2024年4月4日（木）～5月14日（火）16時まで。

申込フォーム <https://forms.gle/kpCwz9GEQnow2Six9> または右のQRコードより入力申込。



受講確定 締切後、受講確定についての連絡を各自へいたします。

グループ分け

申込後、社会連携センターよりリーダー、副リーダーを指名します。また参加メンバー全員によるキックオフ、導入（五島市より自治体の現状などレクチャー）後、五島高等学校でのテーマに基づき、グループ分け（2-3グループ前後）を行います。

スケジュール 詳細は別紙

4月説明会・募集、5月キックオフ・オリエンテーション、学内事前講義、五島市（福江島）訪問手続き⇒五島高等学校2年生各班のテーマの中より、本学混合チームの確定（五島高等学校全チームの中より3チームほど、本学FWメンバーが2名ずつほど加わる）⇒6-8月グループワーク・調査、五島高等学校とZoomで顔合わせ・福江島キッズ対象読み聞かせ準備⇒8月五島市訪問プログラム（五島高等学校対面グループワーク等含む）⇒8-10月グループワーク、準備、まとめ ⇒10～11月発表 ⇒12月活動報告、レポート提出

□ 5月30日(木) 17時30分～19時10分 キックオフ・オリエンテーション(自己紹介、フィールドワーク準備)

□ 6月6日(木) 17時30分～19時10分 地方自治体の取組みを学ぶ

(五島市役所担当者より各自治体の現状と施策を学び、地域社会の担い手として各々が果たす重要性を理解する。そして、直面する課題を多角的視点から理解し、かつ課題解決に向けて、学生自身が地域貢献活動に主体的に取り組むよう、学生の行動を促進できるものを目指す)

8月8日(木) 10時～ 五島市立図書館でのお話し会(～5,6歳対象) イベントリハーサル、出発前オリエンテーション

現地体験プログラム 2泊3日 8月26日(月)～28日(水) 訪問地：五島市(福江島)

宿泊1人1部屋になります。(詳細は別紙)

□ ※各日ごと、振り返りを行い、気付きを促す機会をとして、各チーム毎にグループワークを行う。

※8月27日(火)は五島高等学校へ訪問、対面でのグループワーク等交流。

※8月28日(水) 11:00～五島市立図書館 お話し会(～5,6歳) 絵本読み聞かせイベント実施

※8月28日(水) 14:00～五島の椿(株) 生産者からのレクチャー、椿農園・工場見学

成果発表(五島高等学校) 各賞授与

□ **11月8日(金) 13時～15時30分予定 *当日、本学3時限目に授業のない学生は参加。**

フィールドワークを通じ、今回のテーマに向き合い、達成のためのプラン、実施成果について、五島高等学校とオンラインで繋ぎ発表に参加。

備考：最終発表班の中から、本学より「共立女子大学 学長賞」、ポスターセッションから「共立女子大学 学長賞」と「共立女子大学 五島市フィールドワーク賞」それぞれを選考し授与。

共立女子大学にて活動報告会／FWを踏まえての五島市フェアを開催(10月～11月中旬の中で1日)

・五島市フェア内容を計画、「五島の椿」等、自分たちの現地体験をいかし紹介。

・8月に五島市立図書館にて準備・実施したキッズ対象 絵本読み聞かせイベント等の活動報告(パネル展示)

・「五島の魅力を伝える本」として、五島高等学校の皆様からのおすすめ、本学学生からのおすすめ等を選書し、都内の出版・書店業界に協力をいただき、BOOK MEETS NEXT(会場：共立女子大学)来場者へ紹介(学生たちより紹介、展示)

事後レポート提出

本プログラム終了後、2024年12月10日までに、①事後レポート ②報告書（パネル作成用）を大学・短大 社会連携センターへ提出する。②は各グループで作成する。

① 事後レポート（個人）

【体裁】word ファイル、A4 タテ。行数・文字数設定は、1行につき 40 行×40 行

【枚数】2 ページ（多くて 3 ページ） 写真、画像の使用は 2 枚まで。

1 ページ目の上部（冒頭）に下記を記載することを必須とする。

五島市フィールドワーク 事後レポート

課題：五島高等学校 × 共立女子大学 バラモンプラン

誰もが一度は訪れてみたいと思える環境づくり ～五島市ファンを創出せよ～

学籍番号●●●●●● 氏名 ●●●●●● ●●学部 ●●学科 ●●専攻 or ●●コース ●年

自分なりの本プログラム取り組むにあたってのテーマ：●●●●●●

(レポート本文)

② 報告書（パネル作成用）（各グループで作成）

本学で用意する A1 データテンプレートで作成のうえ、パワポと PDF データ（* 下記ご参照）にて、下記提出先アドレスへ送信し提出。

提出期限：2024年12月10日17時

提出先：社会連携センター 大石 ①Slack 大石宛 ② Google Drive の提出フォルダ（Slack でご連絡します）

* A1 サイズで、下記レイアウトを参照のうえ、作成ください。データサイズは 1M 以上にしてください。

* 下記〈レイアウト参考〉の【目的】【プロジェクト内容・結果】【考察】も入れていただくうえで、レイアウトはお伝えしやすい形にアレンジください。（【】外した表記でも大丈夫です）

拡張子.ai .psd をお使いいただいても大丈夫です。

提出時には、PDF データで送信ください。

